

第2期(2019~2024年)

高知市地域福祉活動推進計画 概要版(案)

だれもが安心して、いきいきと自分らしく暮らせる
支え合いのあるまち

地「参」地「笑」 福祉でまちづくり
～地域の宝(社会資源)を活かした
「つながりのあるまちづくり」～

※ 地「参」地「笑」とは、地域福祉活動へ積極的に参加をして、地域に笑顔があふれる暮らしをつくっていくことです。

●高知市地域福祉活動推進計画とは？

本市では、全国に先行する形で、少子・高齢化や人口減少が進んでおり、地域においては、支え合いや見守り機能の低下、隣近所や人と人とのつながりの希薄化などにより、社会的に孤立する方々への対応が課題となっています。

また、高齢者の認知症の問題や児童虐待、生活困窮の課題等、市民のみなさんが抱える困り事が複雑・多様化していることから、国においては、包括的な支援体制の構築などを目指す地域共生社会の実現に向けた方向性が掲げられているところです。

こうした社会情勢や国の動きをふまえ、地域福祉推進の中核となる高知市社会福祉協議会とともに、第2期「高知市地域福祉活動推進計画」を策定しました。

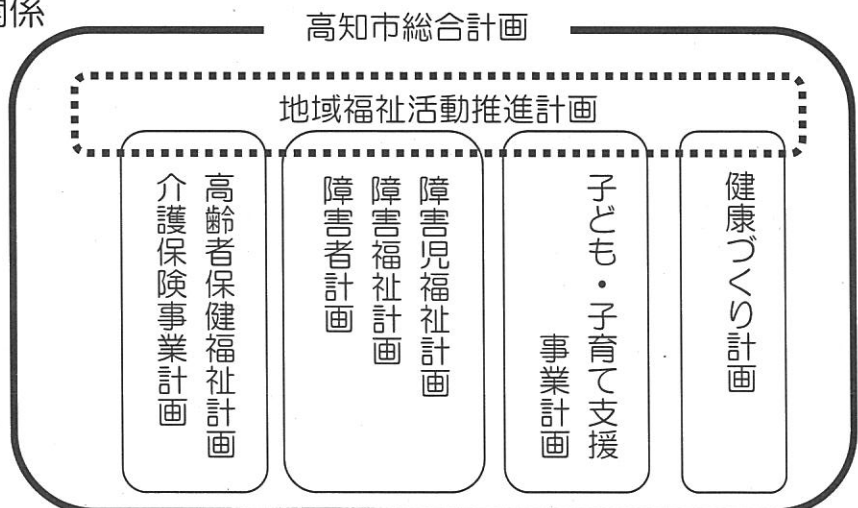
この計画は、社会福祉法第107条に基づく市町村計画である「高知市地域福祉計画」と高知市社会福祉協議会(以下、市社協という)の計画である「高知市社会福祉協議会 地域福祉活動計画」を一体的に策定したものです。

市町村社会福祉協議会(以下、市社協)
社会福祉法第109条で地域福祉の推進を図ることを目的とする団体として位置付けられています。

*そもそも「地域福祉」とは？
「地域」に注目し、高齢者や障害者、児童といった対象者ごとではなく、子どもから高齢者までの支援を要する全ての人を対象とし、誰もが住みやすい地域の仕組みをつくるために、行政、事業者、住民が協働して取り組む福祉活動の総体のことです。

●高知市総合計画との関係

地域福祉活動推進計画は、高知市総合計画を上位計画とし、また、福祉の各分野における共通事項を定め、関連する各計画(右記図参照)の上位計画として位置づけます。

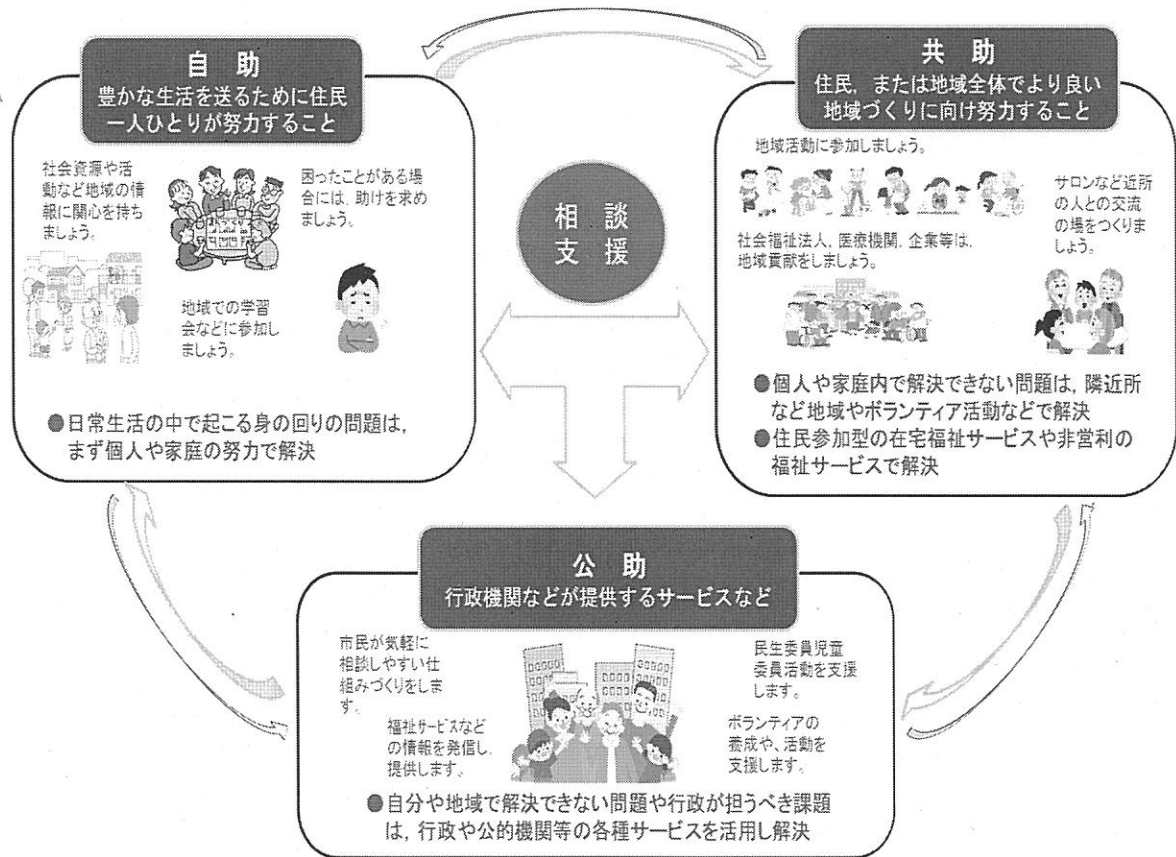


●「地域共生社会」の実現に向けて

第1期（2013～2018）の取組の中で、私たちの住んでいる地域には、今まで知られていなかった多くの宝（「知恵」「人材」「資源」）があることに気づきはじめました。自分たちが住みたい地域を自分たちでつくる、地域でできることを探し、宝を活かし、発展させていこうとする住民主体の地域づくりの取組が市内の各地域で進められています。

複雑・多様化する福祉課題や人口減少社会の中、福祉課題の解決や地域の文化や環境、地域の持続可能性をどのように確保していくか、という危機感と同時に、そこには、地域の課題解決力、地域の力を強くしていこうとする将来への希望があります。

公的サービスの充実とあわせ、地域住民が主体となって助け合いながら、誰もがその人らしく、安心して充実した生活が送れるような地域づくりの取組をより強く、大きくしていくことが求められています。



「地域共生社会」とは、地域で課題を抱えている人を孤立させず、公的サービスとともに、身近な地域住民が主体となって助け合いながら、適切な支援につなぐためのネットワークが張り巡らされた社会です。

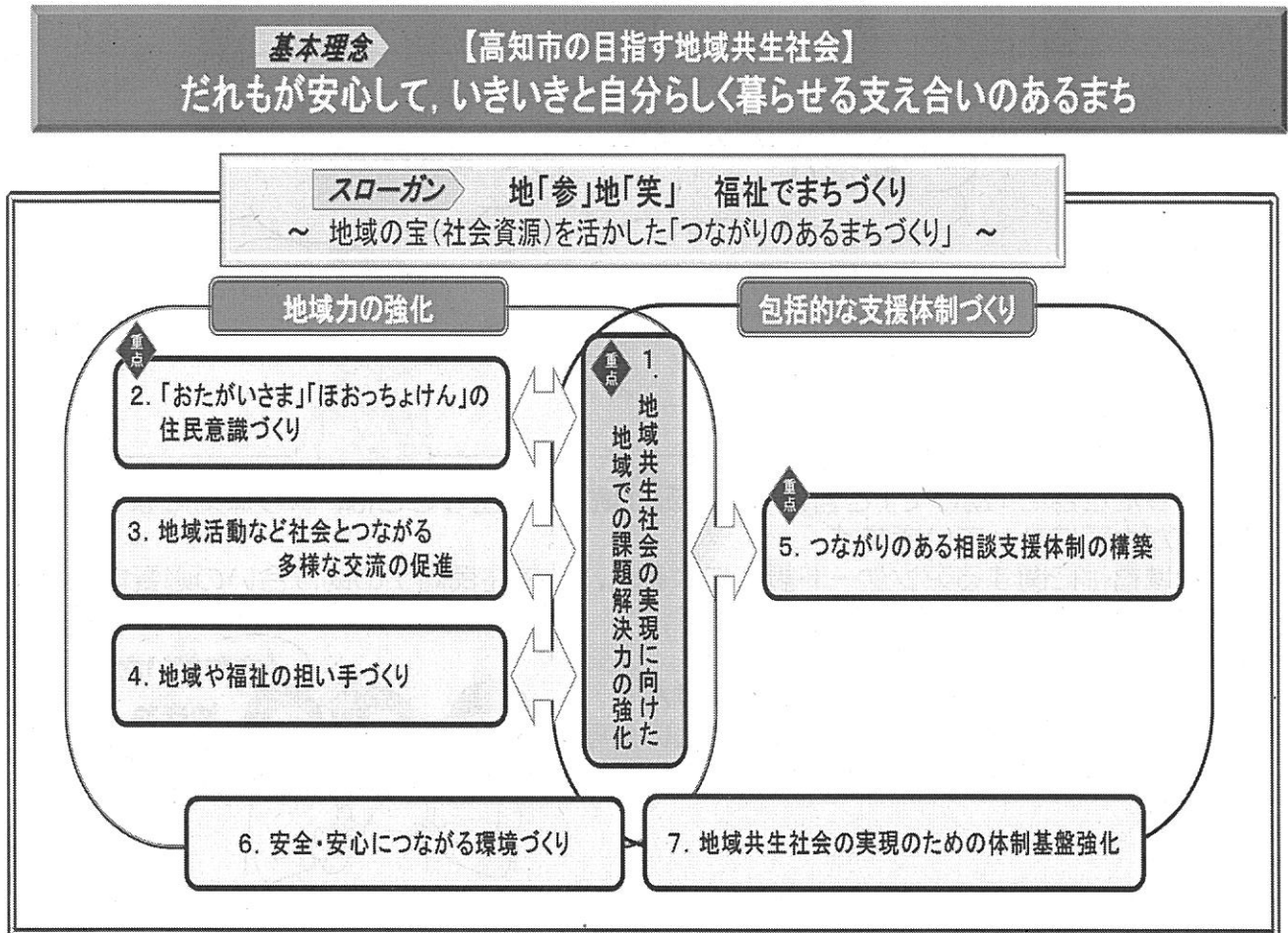
「支える側」の減少と「支えられる側」の増加、課題の多様化・複雑化が進んでいる現状においては、「支える側」の力に頼るだけでは課題の解決が困難です。

「地域共生社会」の実現に向けては、地域の関係団体・事業者や住民、行政等が「つながる」ことにより協力し、「支える側」「支えられる側」という関係を超え、みんなでみんなを支え合うことが大切であり、地域福祉の推進は欠かせないものです。

そのためには、「自助」、「共助」、「公助」の3つの“助”を重層的に組み合わせ実践していくことが大切です。

●基本目標

基本理念「だれもが安心して、いきいきと自分らしく暮らせる支え合いのあるまち」の実現に向け、次の7つの基本目標を設定し、住民主体の課題解決力の強化と包括的な支援体制づくりに取り組みます。



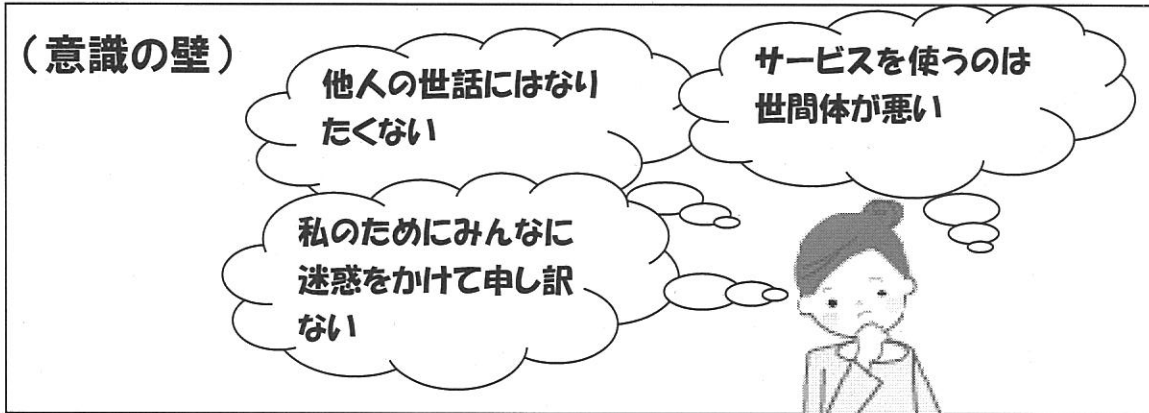
【 指標・目標 】

基本目標毎の指標		2018年⇒2024年
1	地域の活動やボランティア活動への参加「参加している」人の割合	【市民アンケート】 16.8% ⇒ 50%
	専門職の地域福祉コーディネーターの活動内容の周知度 「名前も活動の中身もよく知っている」「名前は知っており、活動内容も少しは知っている」人の割合	【専門職アンケート】 68.5% ⇒ 90%
2	助け合いが「必要だと思う」「あった方がよい」人の割合	【市民アンケート】 80.9% ⇒ 95%
	今後の地域活動へ「現在している活動を継続したい」「ぜひ参加したい」「友人などが一緒なら参加したい」「時間ができたら参加したい」「学習の機会があったら参加したい」人の割合	【市民アンケート】 43.1% ⇒ 80%
3	住んでいる地域(担当区域)の助け合いがあるかどうかに対して「大変そう思う」「そう思う」人の割合	【市民アンケート】 26.9% ⇒ 50% 【民生委員アンケート】 61.2% ⇒ 70%
4	「福祉委員」「気くばりさん」の地域の活動やボランティア活動への参加率 「参加している」「参加していないが参加したことがある」人の割合	【福祉委員・気くばりさんアンケート】 61.7% ⇒ 80%
5	住民の身近な地域でのなんでも相談窓口の設置箇所数(社会福祉法人・民間の事業所での設置も含む)	0か所 ⇒ 40か所
6	高知市総合計画 実施計画, 高知市強靱化計画, 高知市強靱化アクションプランに記載	
7	市社協の活動内容の周知度「名前も活動の中身もよく知っている」「名前は知っており活動内容も少しは知っている」人の割合	【市民アンケート】 21.6% ⇒ 50% 【町内会長・自治会長アンケート】 58% ⇒ 70%

重点

●「おたがいさま」「ほおっちょけん」の住民意識づくり 【基本目標2】

⇒こんなことで困りごとの相談を遠慮していませんか？



困ったときに「助けて」と言えない状況が続くと、困りごとは、より深刻になっていき、解決が大変になっていきます。

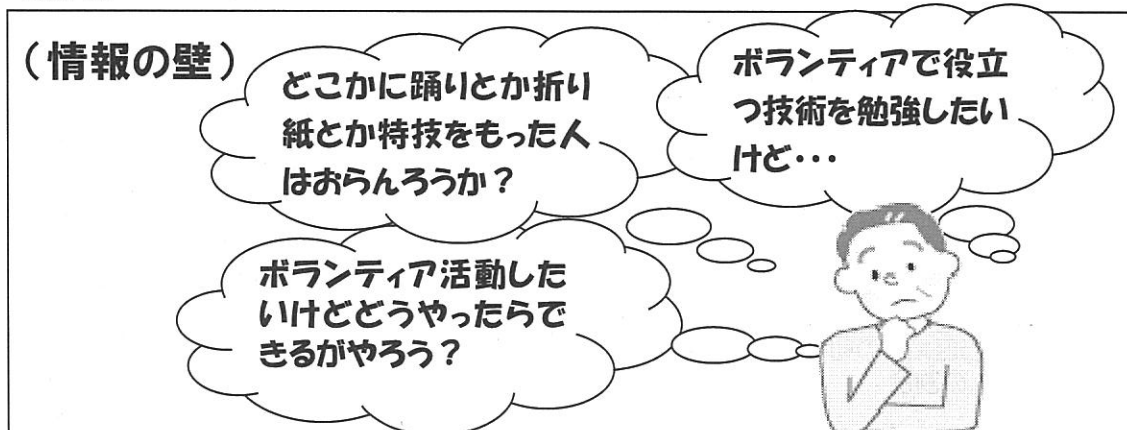
地域福祉に関するアンケート調査によると、地域住民同士の助け合いの必要性については8割近くの方が必要だと答えています。

困っている人がいたら「ほおっちょけん」の気持ちと、困ったときに「助けて」といえる「おたがいさま」の関係づくりを行っていきましょう。



⇒地域福祉に関するアンケート調査では、今後、地域の活動へ参加をしたいと思っていると回答した人は、約5割いました。

しかし・・・



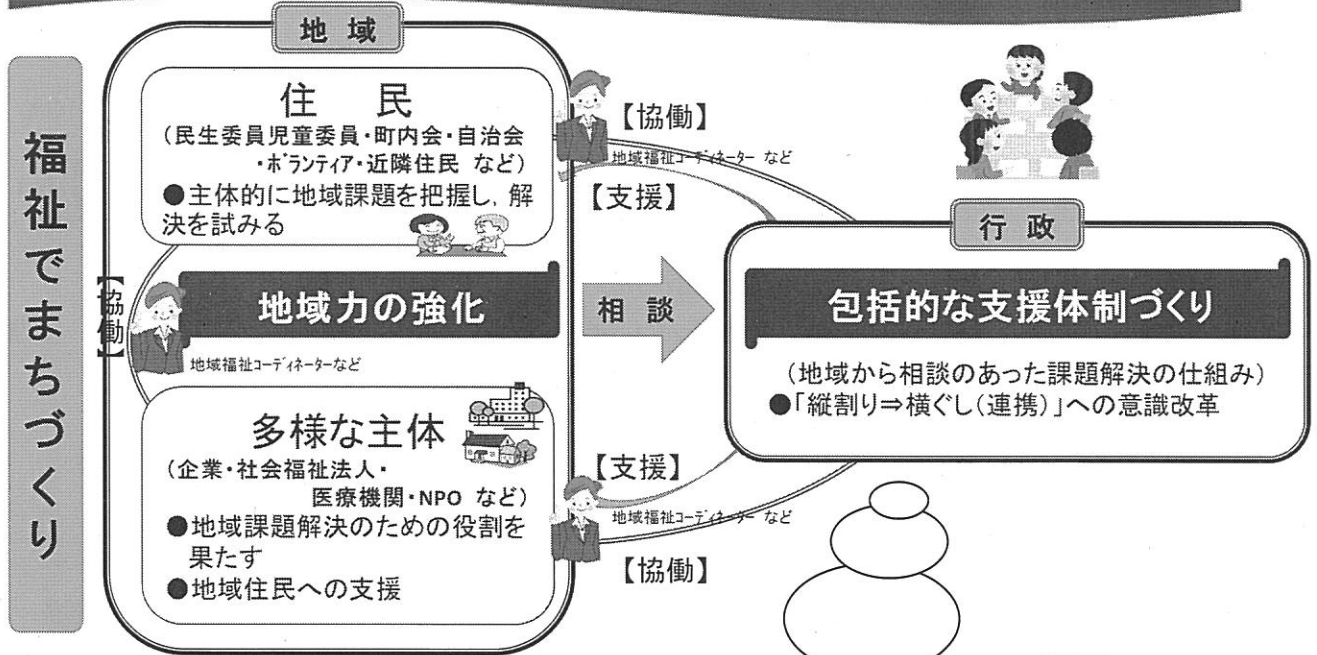
活動に関する情報を知らなかったり、身近に活動グループや仲間がない（知らない）といった理由などから、活動意欲はあるのに、活動できていない人が大勢います。

今後は、活動の場をつくりたい人や参加したいと思っている人へのきっかけづくりや情報提供、また、現在活動を行っている人やこれから活動を行う人や団体に対する支援を行い、活動を継続しやすい仕組みづくりを行っていきます。

重点

- 「地域共生社会の実現に向けた地域での課題解決力の強化【基本目標1】」と「つながりのある相談支援体制の構築【基本目標5】」

地域共生社会実現のための役割分担のイメージ



(仮称) 地域の「なんでも相談窓口」のイメージ図挿入

そのほかの取り組み

- 地域活動など社会とつながる多様な交流の促進

地域活動につながる多様な交流の機会づくりと多様な社会活動の仕組みづくりを促進します。

- 地域や福祉の担い手づくり

既存の担い手をつないでいく支援と多様な担い手の発掘と育成の仕組みづくりを進めます。

- 安全・安心につながる環境づくり

住暮らしやすい生活環境の整備と災害時の対策の充実を進めます。

●市民の地域福祉に関する意識

【住民同士の助け合いの必要性】

住民同士の助け合いの必要性については、どの年齢層でも約8割近くの方が地域住民同士の助け合いの必要性を感じています。

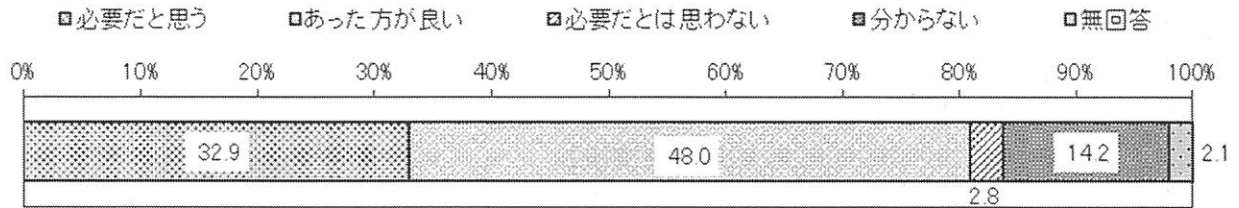
「地域福祉に関するアンケート調査」

実施期間：平成30年6月

対象：高知市に住民票のある20歳以上の方
(3,000名)

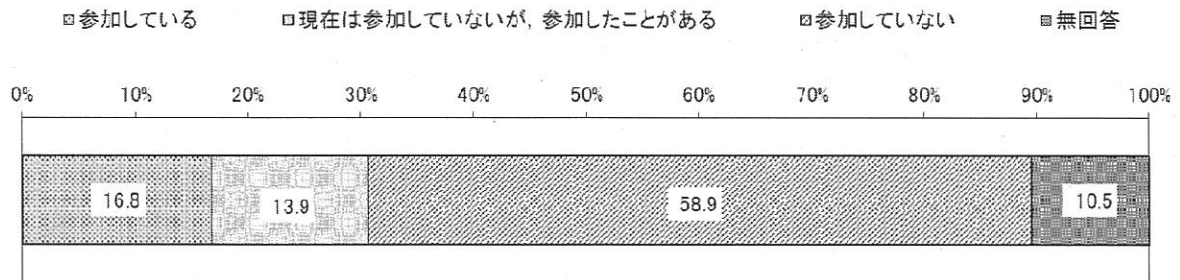
方法：郵送

回収率：44.8%



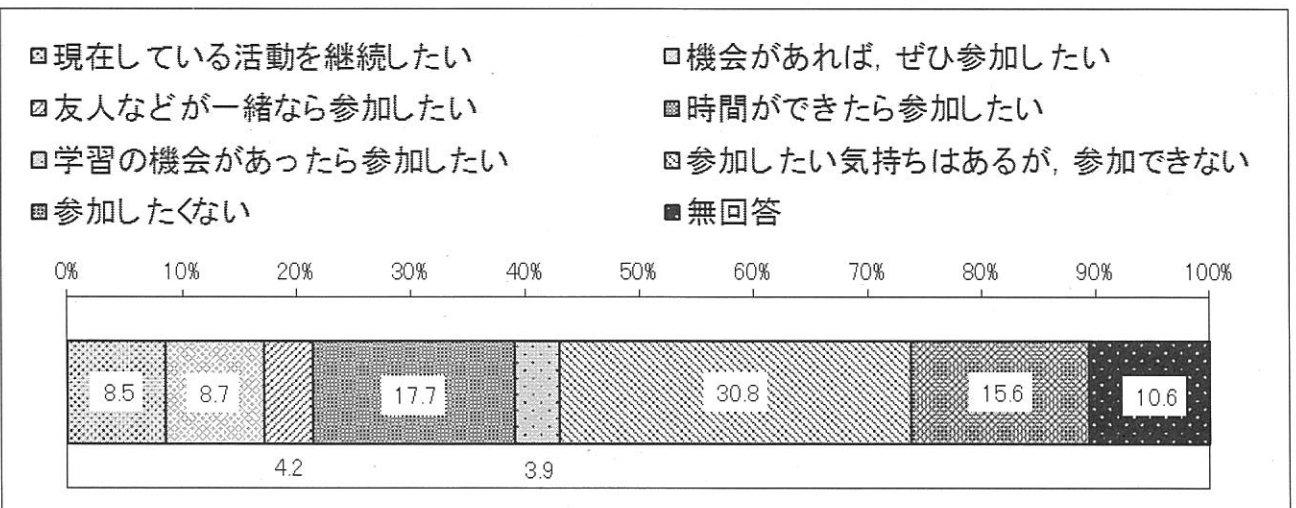
【地域の活動やボランティア活動への参加状況】

地域の活動やボランティア活動へ「参加している」又は「現在は参加していないが、参加したことがある」と答えた人は、約3人に1人となっています。



【今後の地域活動への意向】

今後の地域活動への意向については、約5割の方が参加したいと回答しています。



《高知市の状況》

◆ 人口および世帯数

		平成 20 年	平成 25 年	平成 30 年
総人口	人	341,762	339,166	330,765
男	人	159,210	158,066	154,446
女	人	182,552	181,100	176,319
総世帯数	世帯	157,308	161,788	163,539
1 世帯あたりの人員	人	2.17	2.10	2.02

※ 各年7月1日現在の住民基本台帳人口による

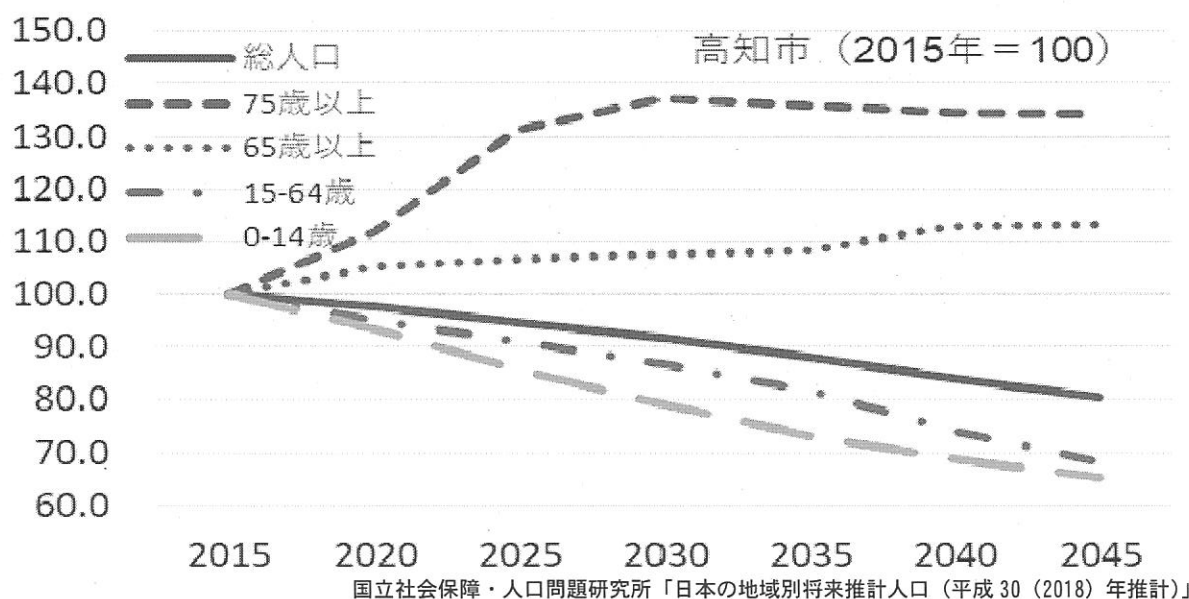
○ 平成 20 年以降の変化をみると、総人口は約 11,000 人減少していますが、世帯数は徐々に増加し、1 世帯あたりの人員は減少しています。

◆ 出生数および死亡数

		平成 20 年	平成 25 年	平成 30 年
出生数	人	2,935	2,815	2,619
死亡数	人	3,282	3,596	3,813

○ 年間出生者数は、この 10 年間で 316 人減少していますが、死亡者数は 531 人増加しています。

◆ 年齢階級別人口変化の推計



○ 総人口および 0~14, 15~64 歳人口は減少し続け、65 歳以上人口はゆるやかに増加、75 歳以上人口の増加は 2030 年をピークに、ゆるやかに減少し始めると推計されています。

【つながりのあるまちづくり】のイメージ



社会福祉の問題は、日常生活を送るうえで誰もが抱える問題です。私たちは、生まれてから死を迎えるその日まで多かれ少なかれ、必要に応じ、誰かからの支援を受けて問題を解決しながら生きています。

その支援は、法律などによって制度化された公的なサービス、あるいは家族、知人、近隣住民などによる支援など様々ですが、私たちは自分以外の誰かと「つながる」ことにより、援助や支援を得て問題を解決しながら生活を送っています。

本市の目指す「だれもが安心して、いきいきと自分らしく暮らせる支え合いのあるまち」の実現のためには、行政や地域福祉コーディネーターなどが地域の活動や人と人をつなぐ支援をする役割を果たすことで地域の関係団体・事業者や住民、行政等が「つながり」を持ち、それぞれの役割を果たしながら地域づくりに参画していくことが大切です。

高知市健康福祉部健康福祉総務課
 〒780-8571 高知市本町 5 丁目 1-45
 TEL : 088-823-9440 FAX : 088-823-9381

社会福祉法人 高知市社会福祉協議会
 〒780-0065 高知市塩田町 18-10
 高知市保健福祉センター内
 TEL : 088-823-9515